

20:11 また私は、大きな白い御座と、そこに着いておられる方を見た。地と天はその御前から逃げ去り、跡形もなくなった。

20:12 また私は、死んだ人々が大きい者も小さい者も御座の前に立っているのを見た。数々の書物が開かれた。書物がもう一つ開かれたが、それはいのちの書であった。死んだ者たちは、これらの書物に書かれていることにしたが、自分の行いに応じてさばかれた。

20:13 海はその中にいる死者を出した。死とよみも、その中にいる死者を出した。彼らはそれぞれ自分の行いに応じてさばかれた。

20:14 それから、死とよみは火の池に投げ込まれた。これが、すなわち火の池が、第二の死である。

20:15 いのちの書に記されていない者はみな、火の池に投げ込まれた。

この少し前の7節ではサタンが解放され、その後にはさばかれます。サタンの解放は、まさにその罪を明らかにするためのもので、さばきのための解放ということです。このように神のさばきは、常に正しく、また明確なものなのです。そしてその後この11節から記されていることが起こります。これは最後の審判です。第二の死とは神からの永遠の断絶です。このような神の絶対的な権威の前にでも、私たちの罪はさばかれることはありません。主イエスの十字架の身代わりがあるからで、私たちの罪がそれゆえに赦されているからです。

おそれおのきつつ、神様の救いに感謝しましょう。主にその感謝を表しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

